

科目	教職論	担当	小川 純子	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容に等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。

我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。

教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。

教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。

学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家と連携・分担して対応する必要性について理解する。

【履修注意】

教職課程を履修する学生の必修科目であり、教職課程を希望しない場合は受講できない。

欠席は4回までとする(遅刻2回で、欠席1回とする)。パソコンを持参する。

【評価方法】

定期試験(中間まとめと期末試験)70%、小論文、小テスト、提出物、講義への参加意欲30%によって総合的に評価する。

【試験について】

中間まとめと期末試験を実施する。また、毎時間、小論文または小テストを実施する。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、小論文すべて提出、小テストすべて合格、筆記試験40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

特に指定しない

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	教職の魅力	ガイダンス 教職の意義 教員の使命
2	教員の資質と能力	いつの時代も求められる資質能力と今後特に求められる資質能力
3	学校の組織と運営	学校経営 校務分掌 学級経営
4	学習指導Ⅰ	学習指導の在り方 教育の目的・目標・カリキュラム
5	学習指導Ⅱ	戦後教育改革の流れ 授業力
6	学習指導Ⅲ	学習指導要領に見る学力観の変化と対応
7	学校評価	学校評価の法的根拠 学校評価の目的と学校の現状
8	教育相談	教育相談の意義 いじめ・不登校への対応 中間のまとめ
9	特別支援教育Ⅰ	特別支援教育の目的と役割 障がいの程度 発達障害の定義
10	特別支援教育Ⅱ	特別支援教育の実際
11	キャリア教育	キャリア教育の定義 勤労観・職業観とキャリア教育
12	教員の服務Ⅰ	教員の職務 教員の任用 教員の服務
13	教員の服務Ⅱ	分限、懲戒 免許状の失効 身分保障
14	教員研修Ⅰ	研修に関わる法的規定
15	教員研修Ⅱ	教員に求められる資質能力 教員の資質能力の総合的な向上
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ